Press Release
愛知県豊川市

ともに かなえるなら とよかわ

令和８年 10 月 22 日

豊川市政記者クラブ加盟社　各位

豊川海軍工廠平和公園・豊川市平和交流館ミニ企画展を開催します！

豊川市教育委員会では、市内外の方に豊川海軍工廠について知っていただくとともに、戦争の歴史を身近なものに感じていただく機会とするために、平和交流館ロビーにおいて定期的にミニ企画展を開催しています。

今回は、豊川稲荷（豊川閣妙厳寺）の午年開帳に合わせて、「豊川海軍工廠と豊川稲荷」と題したミニ企画展を開催します。詳細は下記の通りですので、よろしくお取り計らいください。

記

１　開催日時
令和８年１１月１日（日）～１１月２９日（日）

２　テーマ
豊川海軍工廠と豊川稲荷　～史料の中に見る鎮魂の様子～

３　内容
・豊川稲荷で行われた慰霊行事の紹介
※豊橋中学校関係の慰霊祭で読まれた生徒の弔辞文原稿等を展示
・境内鐘楼堂の梵鐘の鋳造にかかる背景について
・供養塔建立の背景について

４　会場
平和交流館ロビー

５　費用
無料





供養塔（豊川稲荷西側）と梵鐘（境内鐘楼堂）
※写真データは秘書課広報広聴係で提供できます。

【お問合せ先】
豊川市教育委員会 生涯学習課　文化財係　前川
TEL:0533-88-8035 Ｅメール：gakushu@city.toyokawa.lg.jp

豊川海軍工廠平和公園・豊川市平和交流館ミニ企画展

豊川海軍工廠と豊川稲荷

～史料の中に見る鎮魂の様子～

豊川海軍工廠開廠後、豊川には多くの人々が集まり、豊川稲荷（豊川閣妙厳寺）の門前町は工廠に関わる人々の生活の場としても機能していきます。その後、戦況が悪化すると、戦争で亡くなった人々の葬儀も営まれました。

豊川稲荷では、昭和２０年８月７日の空襲における犠牲者の供養が行われ、戦後も鎮魂の場としての役割を深めていきます。

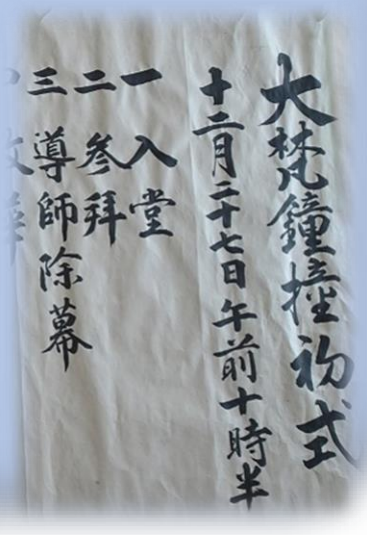
本企画展では、豊川稲荷で行われていた慰霊行事等の記録から、当時の鎮魂の様子を見ていきます。



供養塔（豊川稲荷西側）



梵鐘（境内鐘楼堂）



大梵鐘撞初式次第（豊川稲荷蔵）

◆期間：令和 8 年(2026 年)
11 月 1 日(日)～11 月 29 日(日)

◆ 会　場　豊川市平和交流館(豊川海軍工廠平和公園内)ロビー
〒442-0061　豊川市穂ノ原三丁目 13－2

◆ 費　用　無 料

主催　豊川市教育委員会生涯学習課